

# 小牧市下水道事業の適正な使用料 収入の検討について

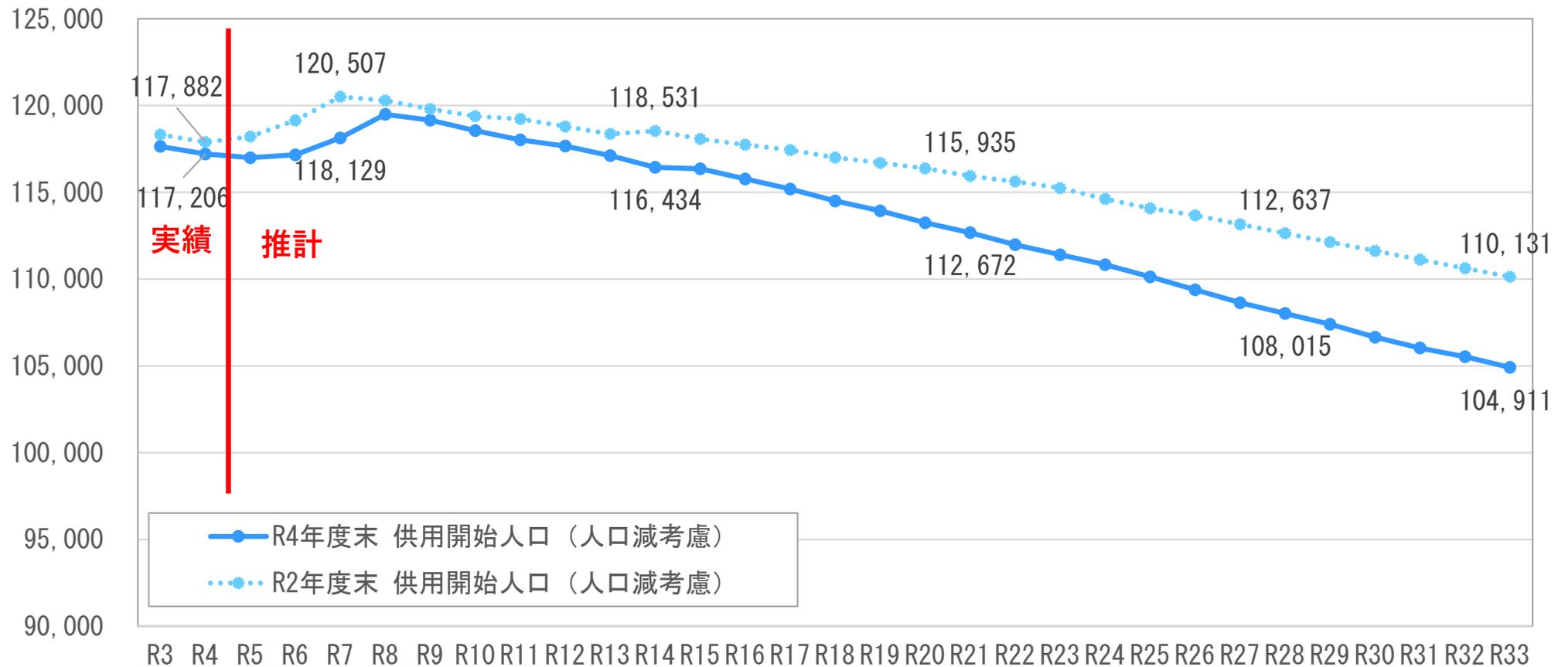
# 1. 投資・財源計画（収支見通し）の修正

# 長期経営計画（令和2年度末推計）からの変更点

- 令和4年度決算数値の反映
- 直近の人口シミュレーションに応じた人口、世帯数、接続人口及び有収水量の更新
- 直近の物価見通しに応じて物価上昇率を修正  
（0.8%から2023年度：2.5%、2024年度：1.9%、2025年度以降：1.6%に修正）
- 直近の給与上昇率に応じて人件費上昇率を修正（0.6%から1%に修正）
- 直近実績に応じて、維持管理負担金単価を47.0円/m<sup>3</sup>から50.2円/m<sup>3</sup>に修正
- 直近実績に応じて、企業債の利率を0.5%から1.3%に修正
- 整備計画を最新の状況に修正

# 供用開始人口（公共下水道）

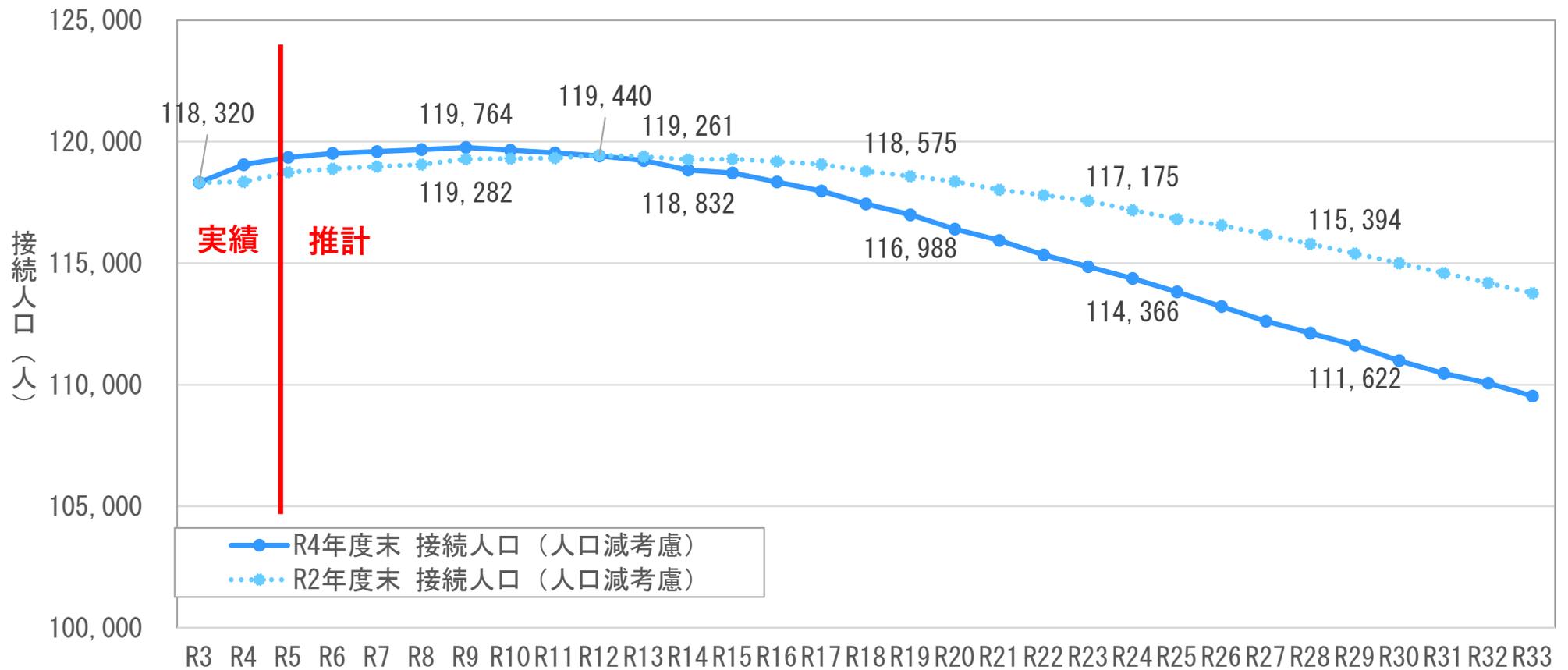
## 長期経営計画（令和2年度末推計）との比較



計画策定時の推計と比較し、供給開始人口が減少しています。  
将来になるほど、人口減少により下落幅が大きくなる見込みです。

# 接続人口（公共下水道）

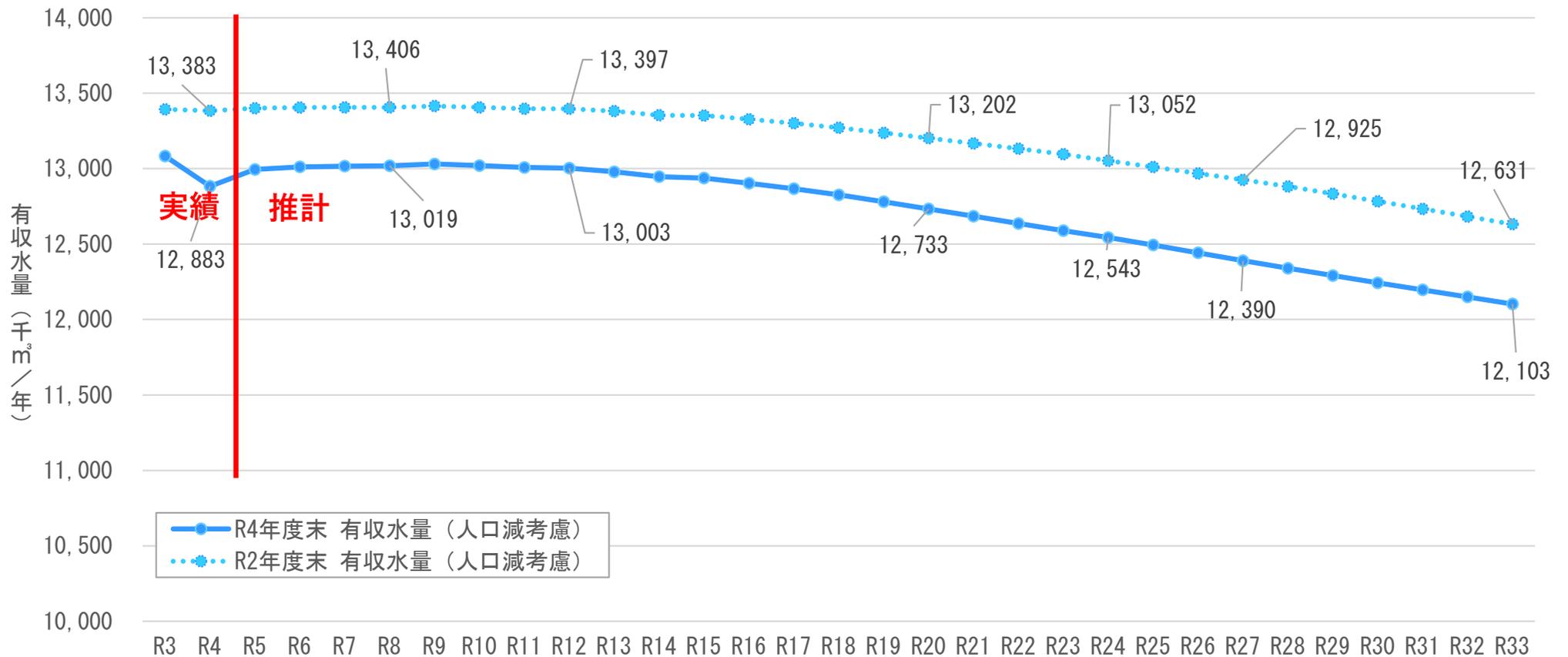
## 長期経営計画（令和2年度末推計）との比較



令和3、4年度の実績は、計画策定時の推計を上回っていますが、R12年度以降は計画策定時の推計より人口減少幅が大きくなると見込んでおり、接続人口も減少していく見込みです。

# 有収水量（公共下水道）

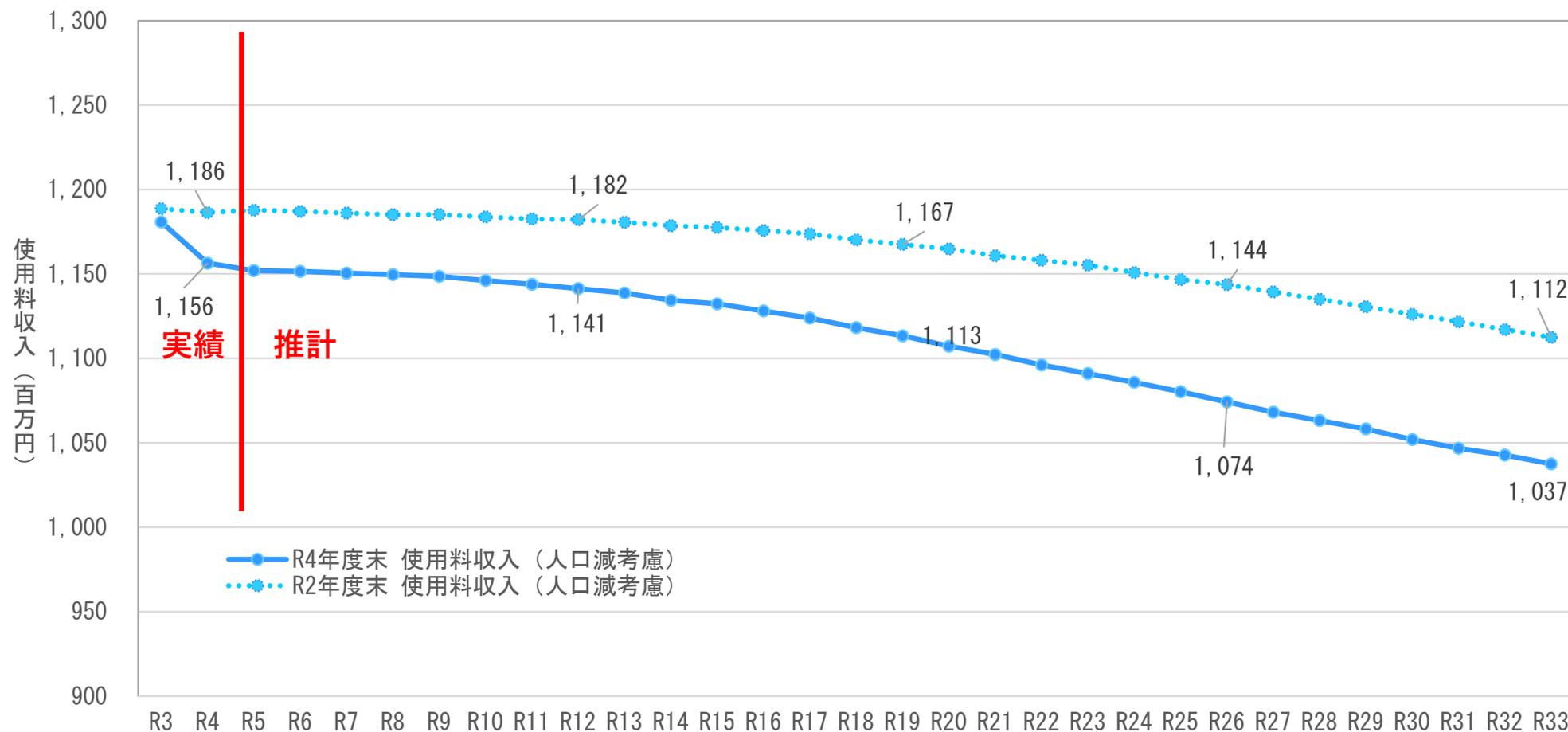
## 長期経営計画（令和2年度末推計）との比較



節水意識の高まりや接続人口の減少に伴い、計画策定時の推計を下回る見込みです。

# 使用料収入（公共下水道）

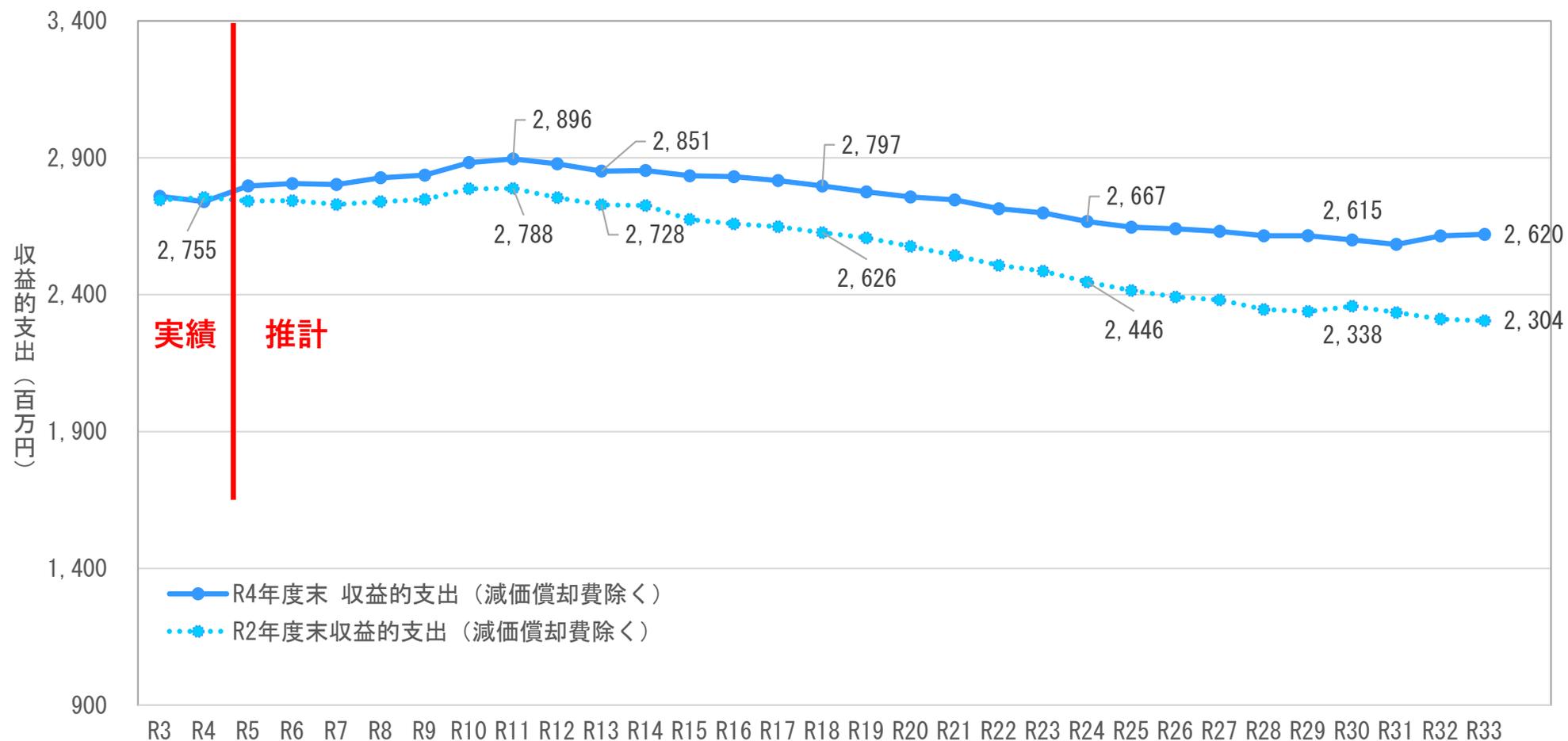
## 長期経営計画（令和2年度末推計）との比較



有収水量の減少に伴い、使用料収入も計画策定時の推計を下回る見込みです。

# 収益的支出（公共下水道）

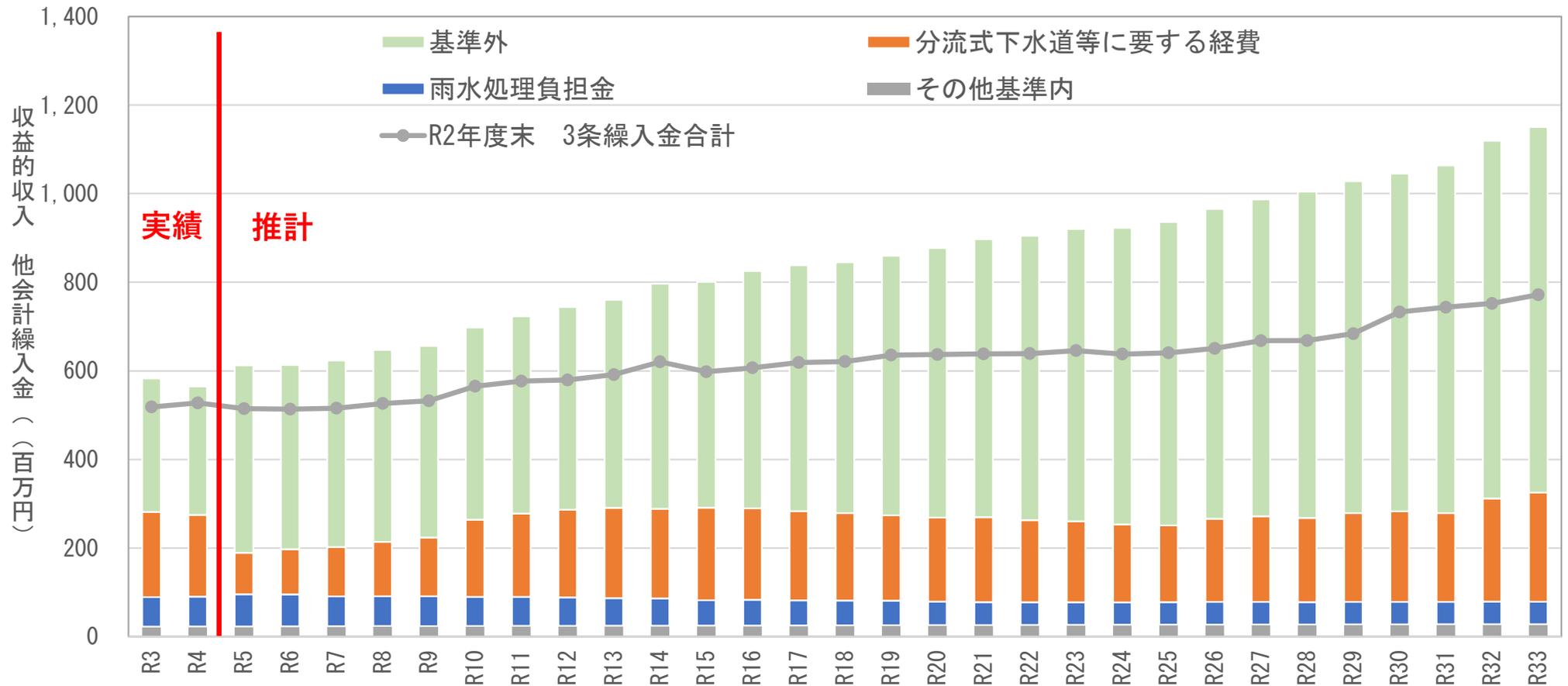
## 長期経営計画（令和2年度末推計）との比較



直近の物価上昇や金利上昇、負担金単価の見直しにより、最新推計の収益的支出は計画策定時の推計を上回る見込みです。

# 3条繰入金の推計

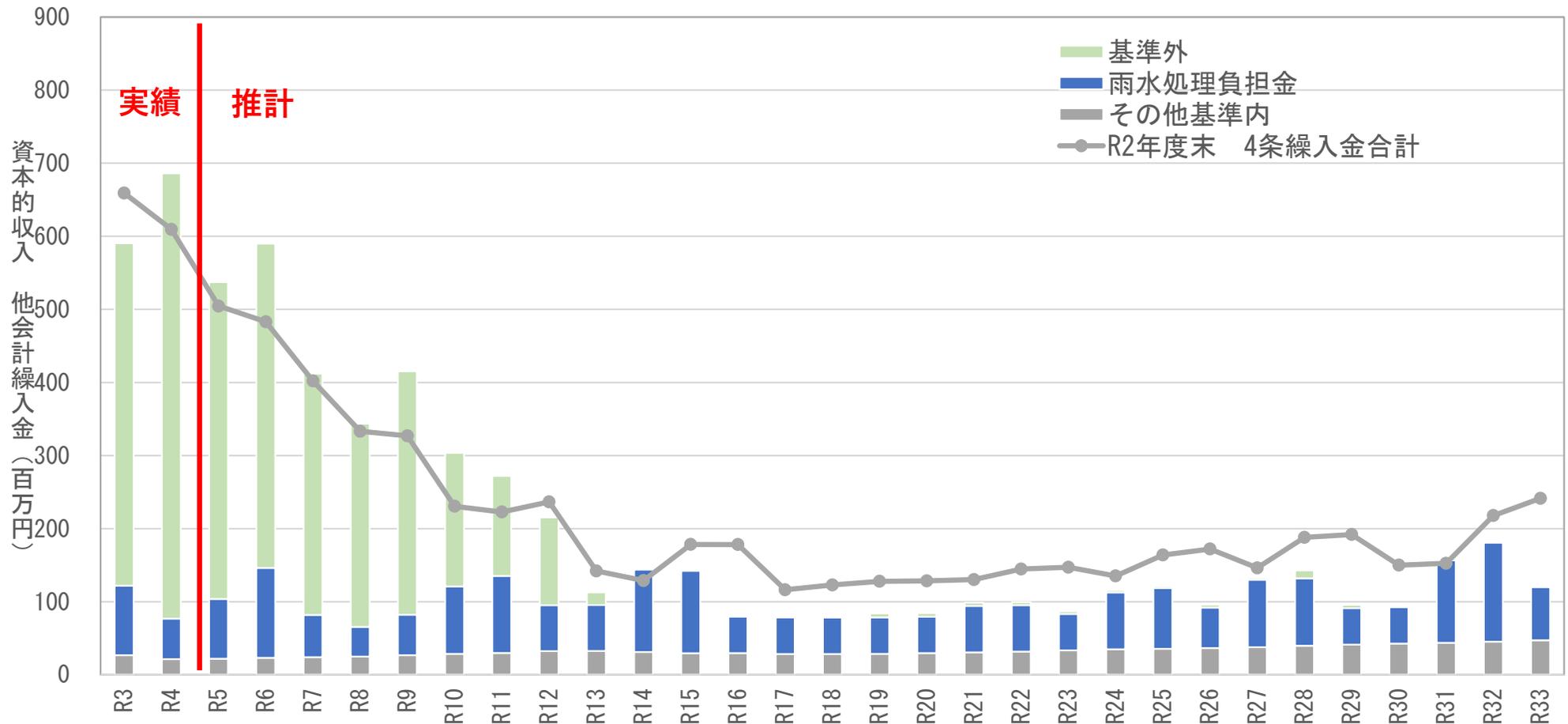
## 長期経営計画（令和2年度末推計）との比較



流域下水道維持管理負担金の単価が上昇し、さらに使用料収入が減少することで、基準外繰入金が大幅に増加する見込みです。

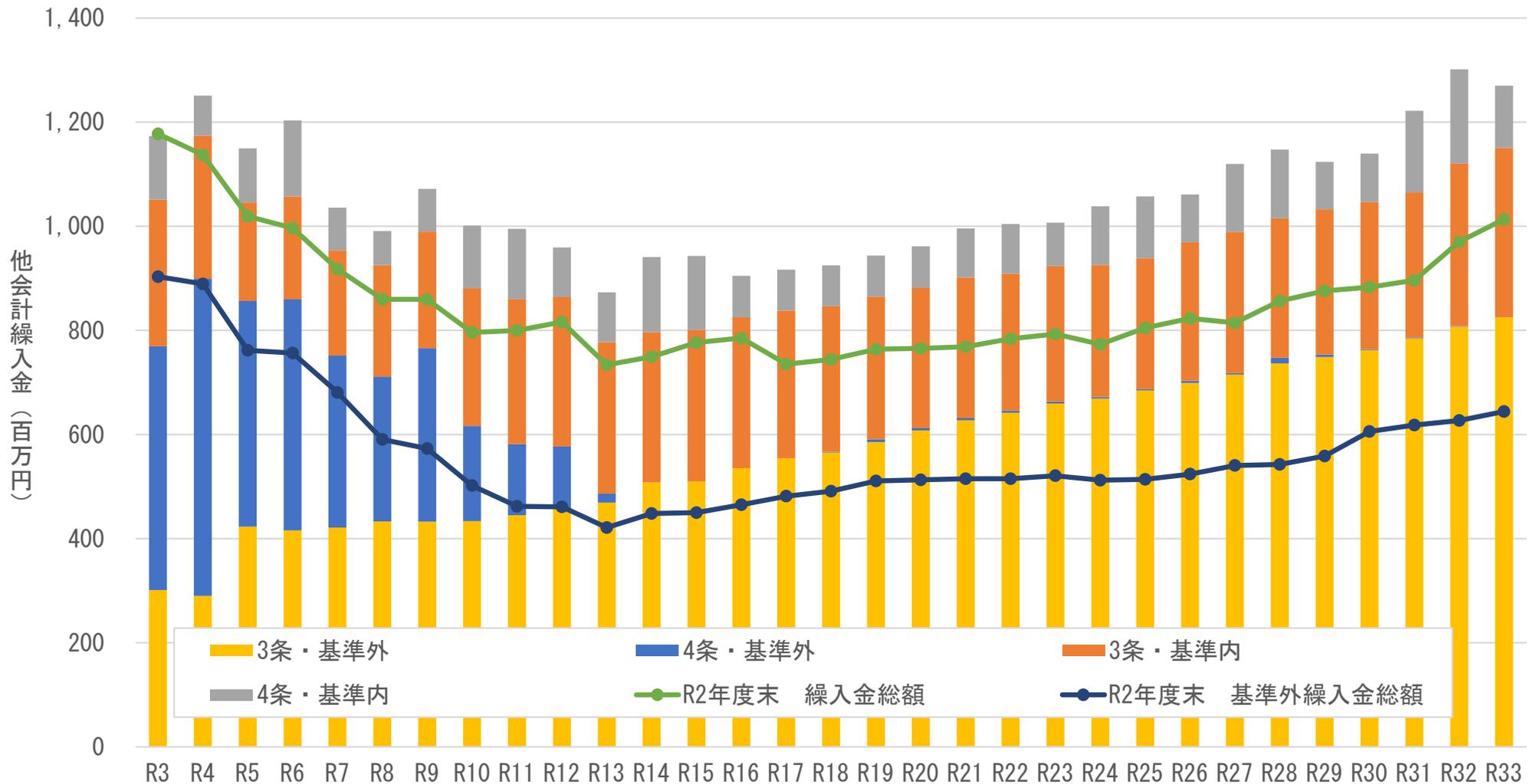
# 4条繰入金の推計

長期経営計画（令和2年度末推計）との比較



起債対象としていたものの一部を借り入れないこととなったため  
短期的には増加する年度があるものの長期的には減少する見込みです。

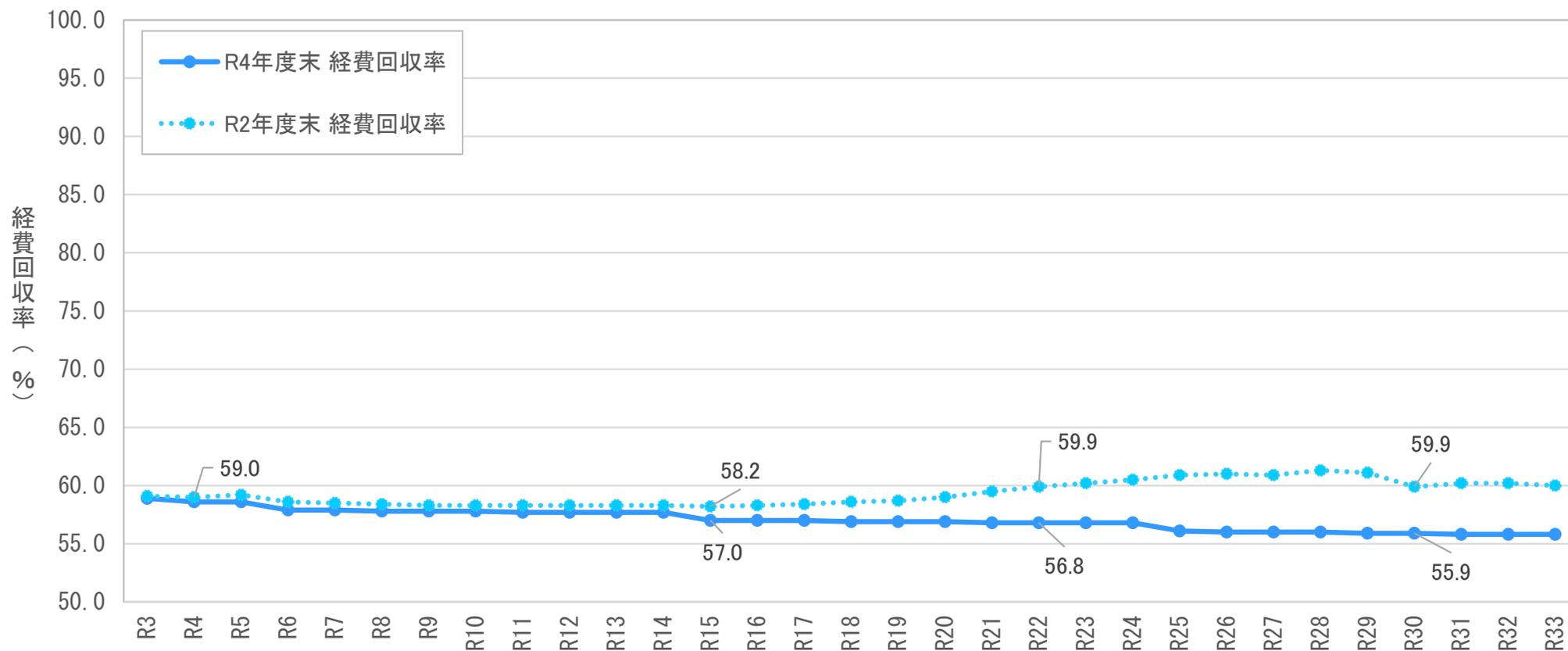
# 繰入金合計



令和13年度までは減少しますが、その後は使用料収入減少により  
3条基準外繰入金が増加し、繰入金総額も年々増加する見込みです。

# 経費回収率

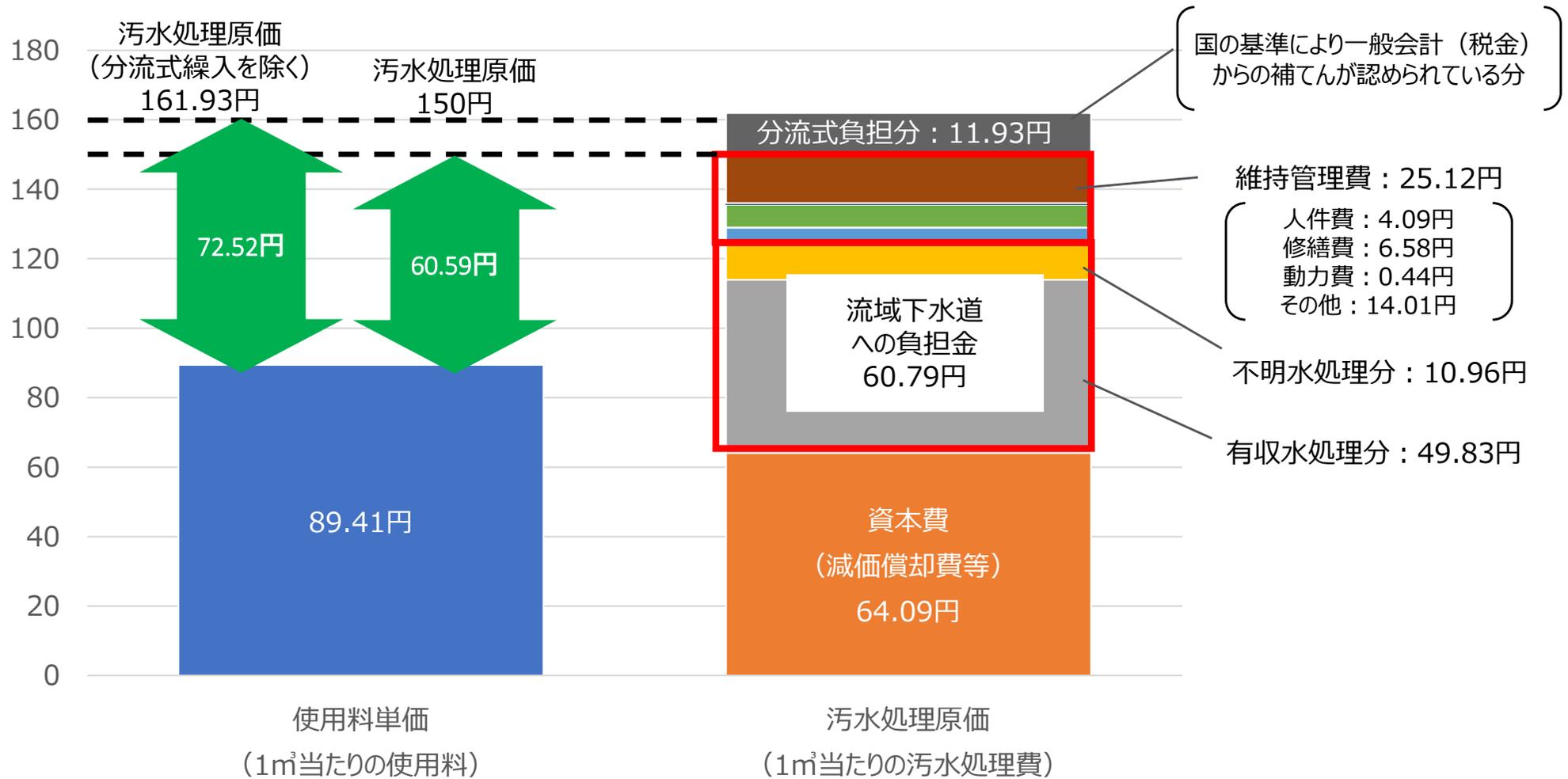
## 長期経営計画（令和2年度末推計）との比較



使用料収入の減少により、経費回収率も計画策定時の推計を下回る見込みです。

## 2. 使用料の改定について

# 汚水処理原価・使用料単価の内訳（令和4年度実績）



- ✓ 維持管理費の主な内容は流域負担金であり、資本費の主な内訳は減価償却費となっています。
- ✓ 汚水処理原価に対して、使用料収入は60.59円/m<sup>3</sup>不足しています。
- ✓ 運営費に対して繰り出される分流式下水道に対する繰入分の経費も含めると、72.52円/m<sup>3</sup>の不足です。

# 使用料改定の目標について

## 国土交通省の要請について

- 少なくとも5年に1回の頻度で、下水道使用料の改正の必要性に関する検証を行うこと。
- 経費回収率（使用料単価／汚水処理原価）の向上に向けたロードマップの策定。  
（概ね10年程度での段階的な使用料適正化や経営改善等の実施予定時期及び業績指標を記載）

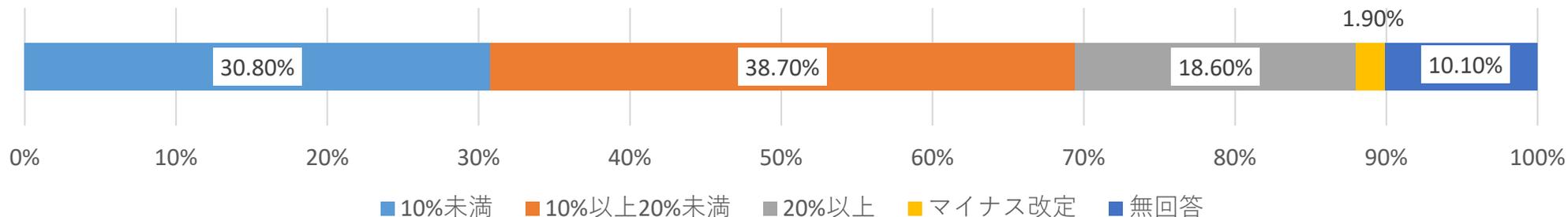
## 長期経営計画の目標について

- 数値目標② 一般会計からの基準外繰入金を抑制します。
- 数値目標③ 経費回収率100%以上を目指します。

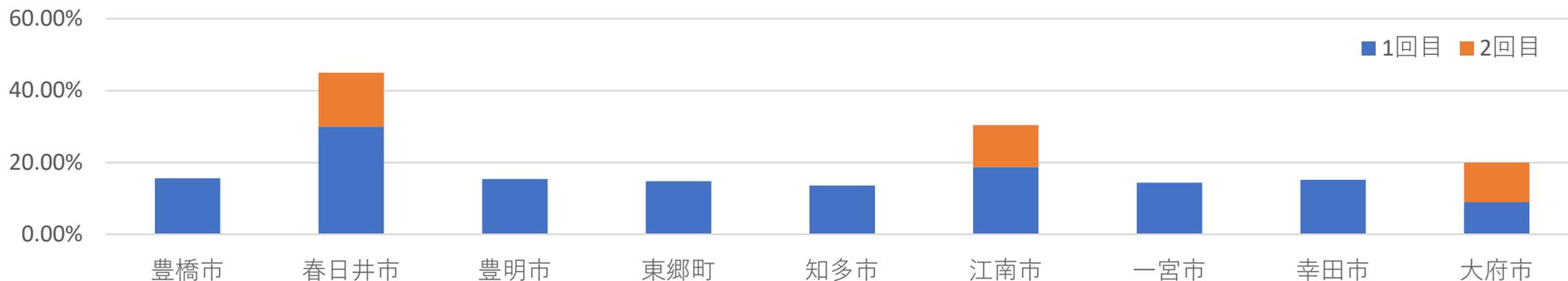
経費回収率100%を目標とすると令和4年度決算では、67.8%の改定が必要です。

# 他団体の改定状況

直近5か年（令和元年時点）で改定した公共下水道事業体（318団体）の平均改定率  
（国土交通省が公表しているアンケート結果より）



愛知県内の市町村の近年の改定率（2回以上の改定がある場合、1回目の改定後に対する改定率を示す）



- 2回改定した団体の1回目と2回目の間隔

春日井市：1年間（当初は2年の予定）

江南市：4年間

大府市：2年6カ月

出所：国土交通省HP 人口減少下における維持管理時代の下水道経営のあり方検討会 「第2回（令和元年12月6日）資料2」

[03\\_shiryu2.pdf \(mlit.go.jp\)](#)

愛知県内の市町村改定率「総務省 地方公営企業年鑑」

[総務省 | 地方公営企業等 | 地方公営企業決算 \(soumu.go.jp\)](#)

# 近隣団体の参考情報（春日井市）

代表的な使用水量の時の使用料金（2ヵ月、税込）及び改定率（改定前比）

使用水量	改定前 (A)	改定後① (B)	改定率① (A:B)	改定後② (C)	改定率② (A:C)
20m <sup>3</sup>	1,870円	2,310円	24%	2,970円	59%
50m <sup>3</sup>	4,950円	6,380円	29%	7,370円	49%
100m <sup>3</sup>	10,890円	14,190円	30%	15,730円	44%

改定時期：第一段階 **令和3年4月**、第二段階 **令和4年4月**

改定後の経費回収率（実績と見通し）

	実績 ←	見通し →
令和2年	66.5%	
令和3年	87.9%	
令和4年		100.0%

出所：春日井市HP 「下水道使用料の改定」 [下水道使用料の改定 | 春日井市公式ホームページ \(kasugai.lg.jp\)](https://www.kasugai.lg.jp)  
 経費回収率（実績） 「総務省 地方公営企業年鑑」 [総務省 | 地方公営企業等 | 地方公営企業決算 \(soumu.go.jp\)](https://www.soumu.go.jp)  
 経費回収率（見通し） 「春日井市公共下水道事業経営戦略」 [keieisenryaku.pdf \(kasugai.lg.jp\)](https://www.kasugai.lg.jp/keieisenryaku.pdf)

# 近隣団体の参考情報（江南市）

代表的な使用水量の時の使用料金（2ヵ月、税込）及び改定率（改定前比）

使用水量	改定前 (A)	改定後① (B)	改定率① (A:B)	改定後② (C)	改定率② (A:C)
20m <sup>3</sup>	1,870円	2,695円	44%	3,058円	64%
50m <sup>3</sup>	5,280円	6,677円	26%	7,469円	41%
100m <sup>3</sup>	12,980円	15,653円	21%	17,402円	34%

改定時期：第一段階 **令和5年4月**、第二段階 **令和9年4月**

改定後の経費回収率（見通し）

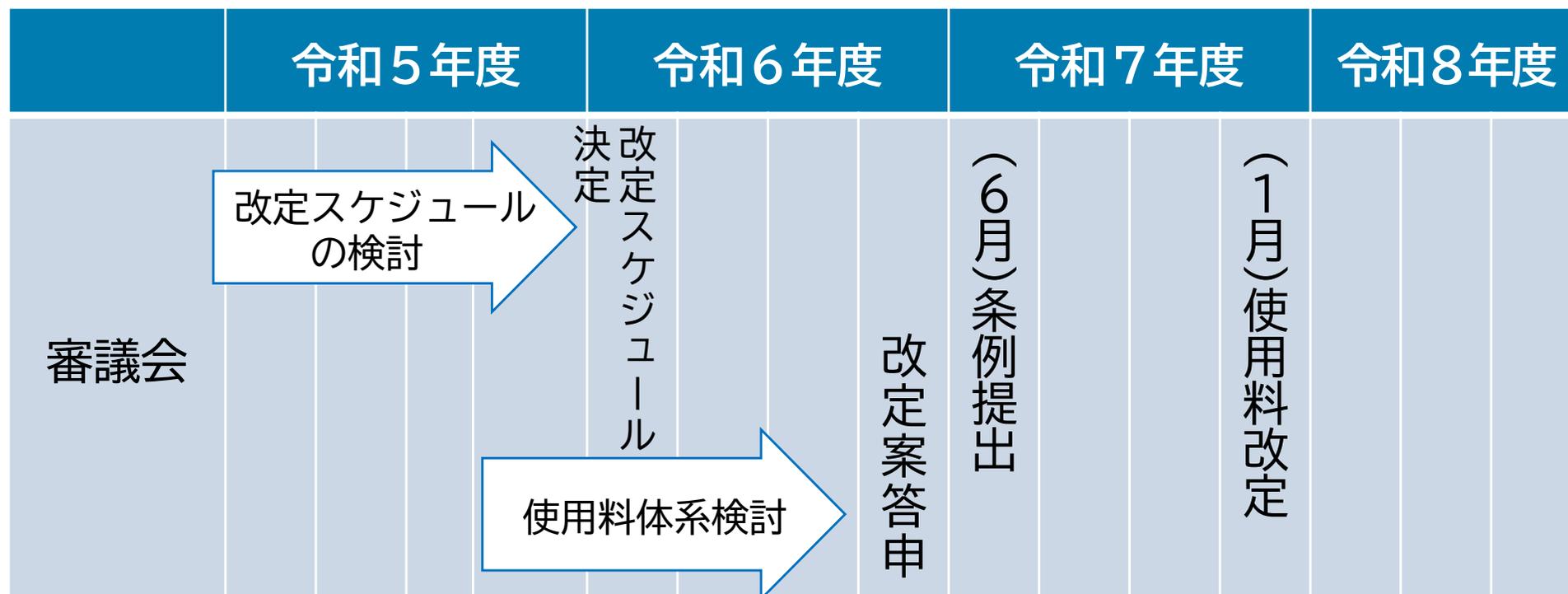
見通し	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
	57.2%	64.7%	66.1%	67.9%	70.3%	80.1%	81.7%

出所：江南市HP「下水道使用料の改定について」 [下水道使用料の改定について | 江南市公式ホームページ \(konan.lg.jp\)](https://www.konan.lg.jp)  
 経費回収率のみ「江南市下水道事業経営戦略」 [honpen.pdf \(konan.lg.jp\)](https://www.konan.lg.jp/honpen.pdf)

### 3. 使用料改定スケジュールの提案

# 検討スケジュールについて

- 使用料改定スケジュールは今年度末までに策定する予定です。
- 引き続いて下水道使用料体系について審議いただき、令和7年1月に答申をいただく予定です。
- 庁内調整、市議会での審議を経たのち、6か月間の周知期間を設けるため、1回目の使用料改定を令和8年1月に設定します。



一度に70%近くの改定を行うことは住民負担が著しく増大するため、段階的な改定を検討します。

# 使用料改定スケジュール案1

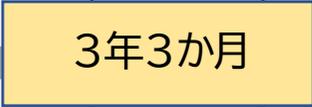
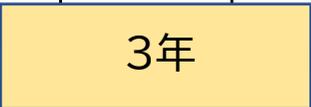
30%・3年間隔で2回の値上げを想定（令和8年1月・令和11年4月）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
スケジュール											
改定率											
使用料 (百万円)	1,152	1,152	1,237	1,494	1,493	1,490	1,933	1,929	1,924	1,917	1,913
汚水処理 原価 (百万円)	1,949	1,952	1,952	1,953	1,955	1,953	1,951	1,950	1,947	1,942	1,941
経費回収 率 (%)	59%	59%	63%	77%	76%	76%	99%	99%	99%	99%	99%

- ✓ 令和7年度および令和11年度にそれぞれ30%の改定を行う。
- ✓ 経費回収率は、99%程度の水準となる。

# 使用料改定スケジュール案2

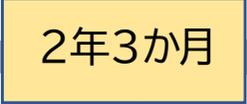
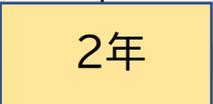
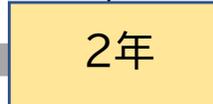
20%・3年間隔を3回（令和8年1月・令和11年4月・令和14年4月）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
スケジュール											
改定率											
使用料 (百万円)	1,152	1,152	1,208	1,379	1,378	1,375	1,647	1,643	1,640	1,960	1,956
汚水処理 原価 (百万円)	1,949	1,952	1,952	1,953	1,955	1,953	1,951	1,950	1,947	1,942	1,941
経費回収 率 (%)	59%	59%	62%	71%	71%	70%	84%	84%	84%	101%	101%

- ✓ 令和7年度および令和11年度、令和14年度にそれぞれ20%の改定を行う。
- ✓ 経費回収率は、101%程度の水準となる。

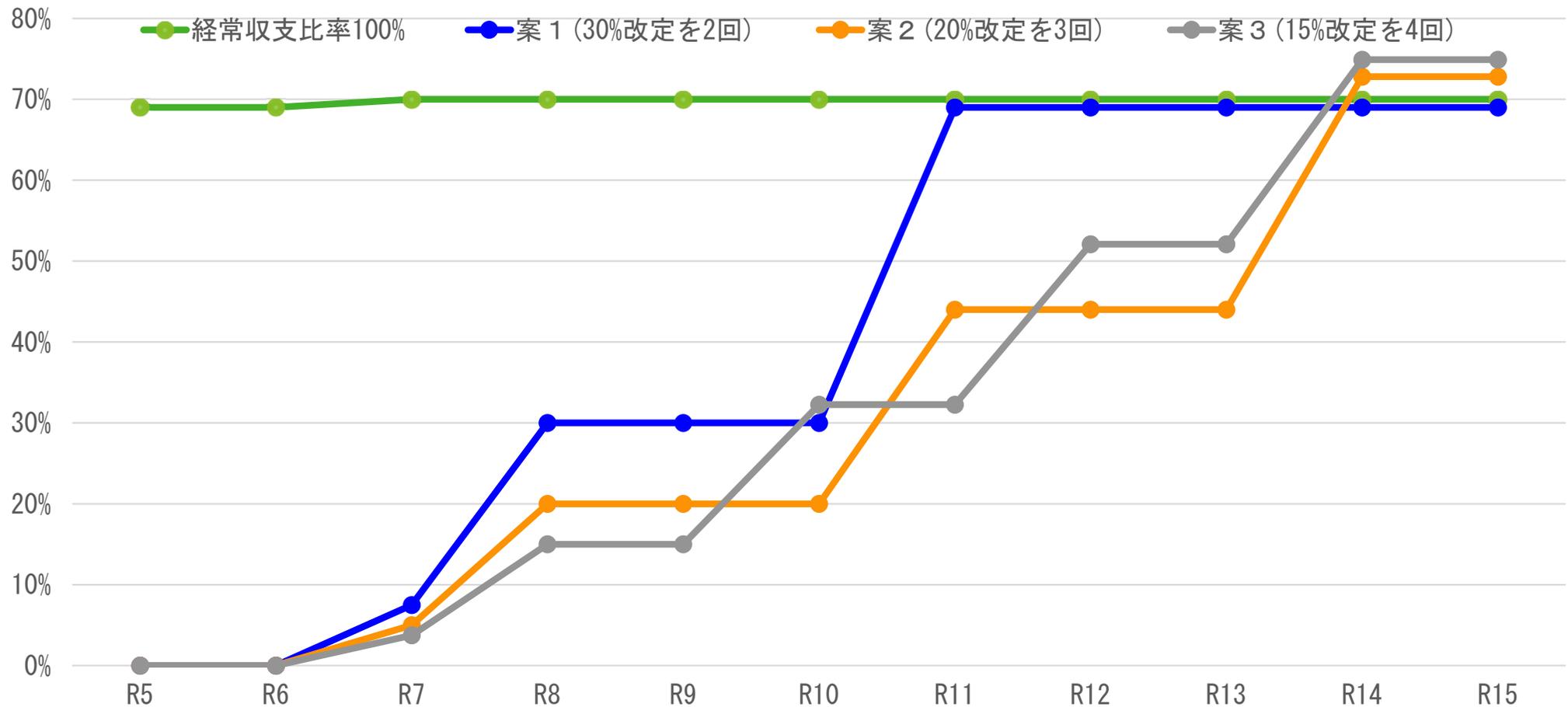
# 使用料改定スケジュール案3

15%・2年間隔を4回（令和8年1月・令和10年4月・令和12年4月・令和14年4月）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
スケジュール												
改定率			15%			15%				15%		
使用料 (百万円)	1,152	1,152	1,194	1,322	1,321	1,516	1,513	1,736	1,732	1,984	1,980	
汚水処理 原価 (百万円)	1,949	1,952	1,952	1,953	1,955	1,953	1,951	1,950	1,947	1,942	1,941	
経費回収 率 (%)	59%	59%	61%	68%	68%	78%	78%	89%	89%	102%	102%	

- ✓ 令和7年度および令和10年度、令和12年度、令和14年度にそれぞれ15%の改定を行う。
- ✓ 経費回収率は、102%程度の水準となる。

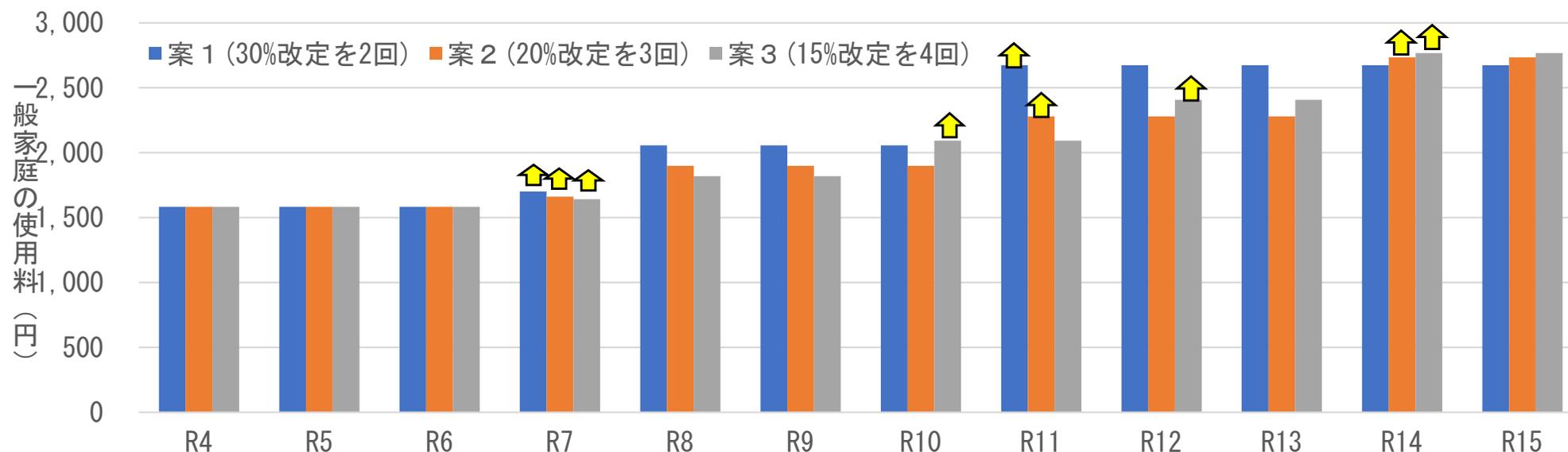
# 使用料改定率の比較



30%改定2回は令和11年、他の2案は令和14年に  
経費回収率100%になる見込みです。

# 使用料改定に伴う一般家庭の使用料見込み

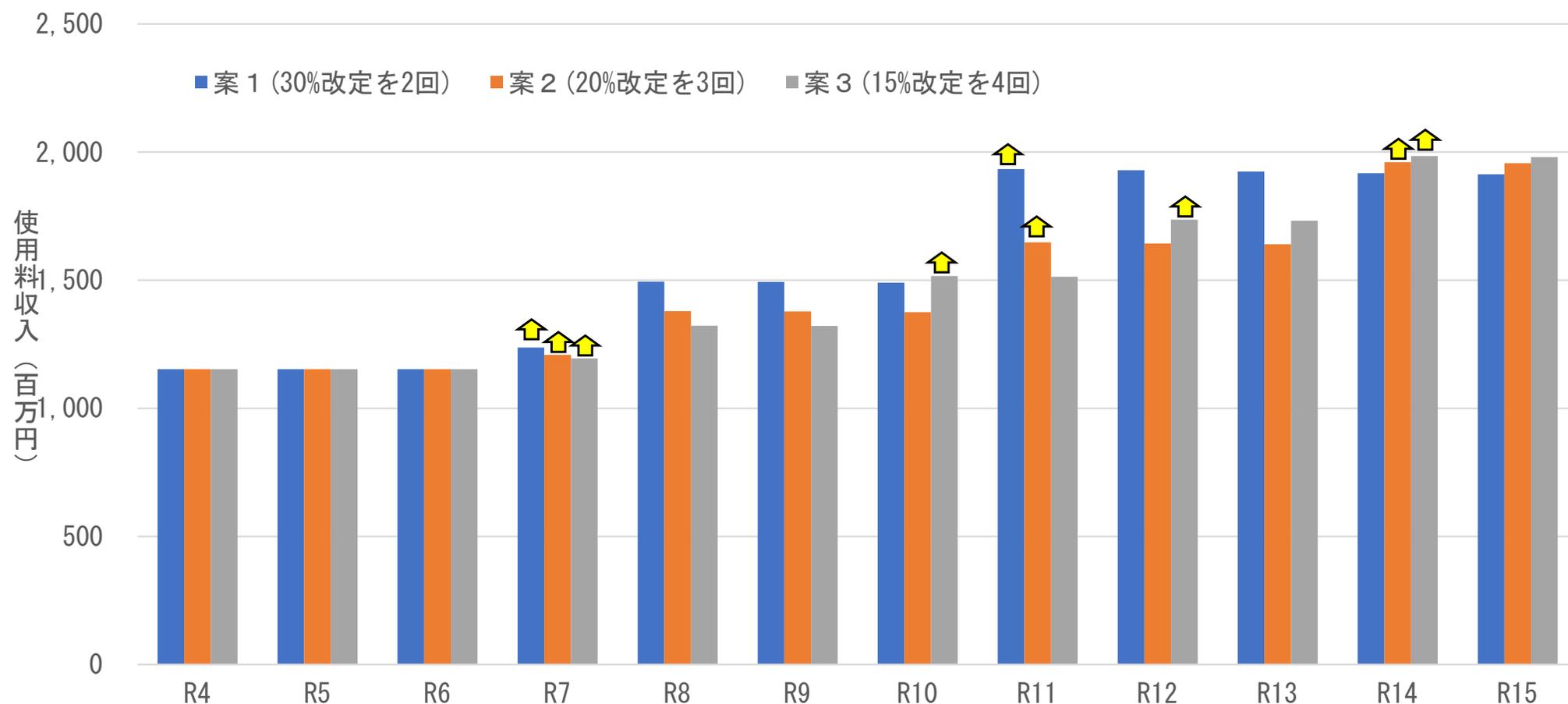
使用料改定後の一般家庭の使用料見込み（1か月、税込、20m<sup>3</sup>）



	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
案1 (30%改定を2回)	1,582	1,582	1,582	1,700 (+118)	2,056 (+474)	2,056 (+474)	2,056 (+474)	2,673 (+1,091)	2,673 (+1,091)	2,673 (+1,091)	2,673 (+1,091)	2,673 (+1,091)
案2 (20%改定を3回)	1,582	1,582	1,582	1,661 (+79)	1,898 (+316)	1,898 (+316)	1,898 (+316)	2,278 (+696)	2,278 (+696)	2,278 (+696)	2,733 (+1,151)	2,733 (+1,151)
案3 (15%改定を4回)	1,582	1,582	1,582	1,641 (+59)	1,819 (+237)	1,819 (+237)	2,092 (+510)	2,092 (+510)	2,406 (+824)	2,406 (+824)	2,767 (+1,184)	2,767 (+1,185)

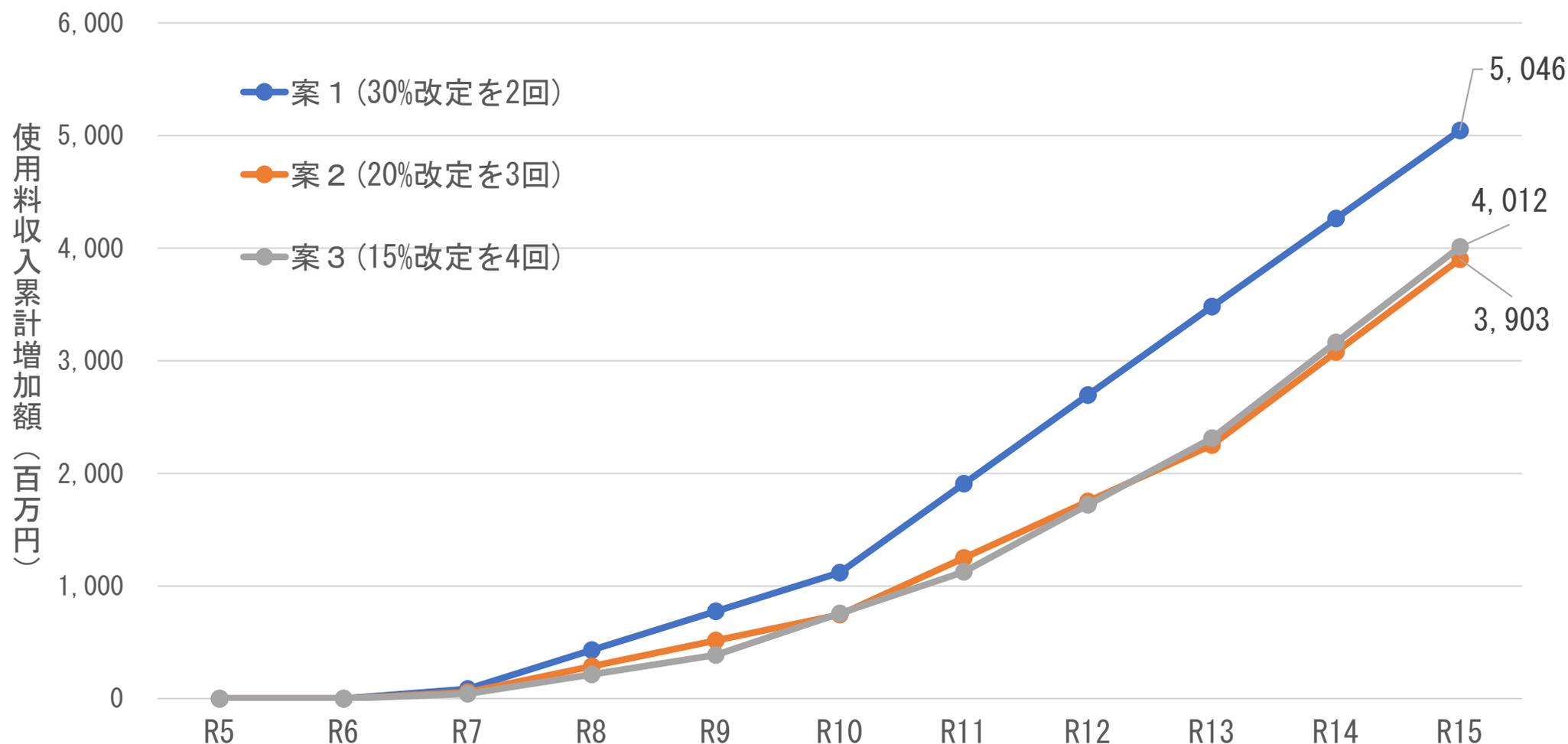
計算の関係で改定の回数が多いほど最終的な増加額は高くなっていますが、どの案も最後の改定は経費100%にあわせて調整するので差は出ない予定です。

# 改定案ごとの使用料収入比較



経費回収率100%まで上げると収入が約8億円増加し  
使用料収入は20億円弱になる見込みです。

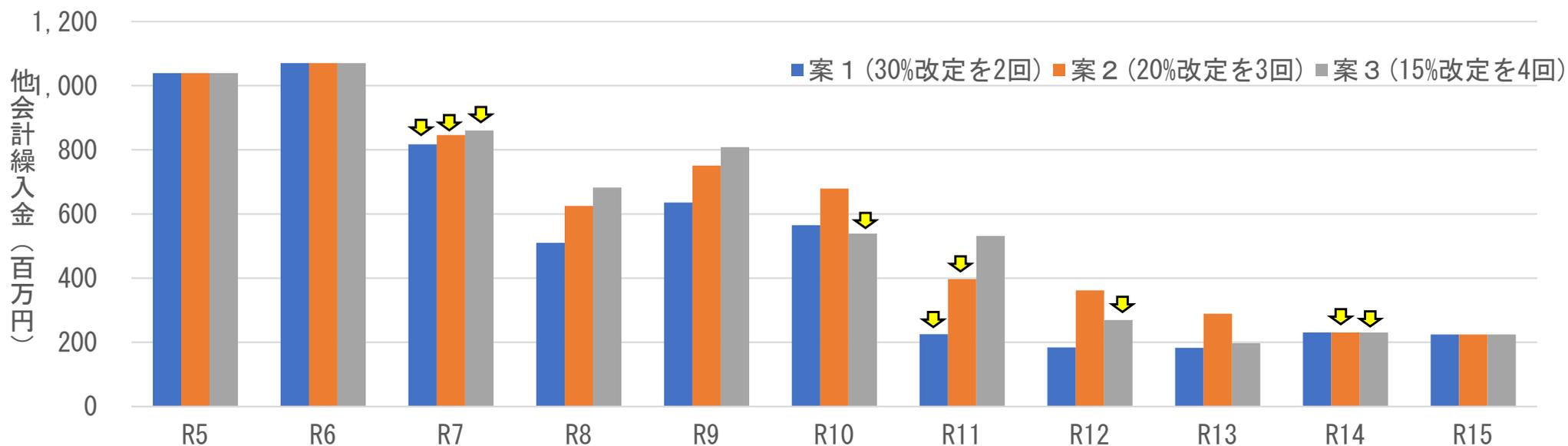
# 使用料増加見込額の積上げ



案 1 は、他の2案に比べて経費回収率100%への到達が早いので  
使用料収入の増加額の積み上げも多くなります。

# 各改定案の10年間の繰入金の推移

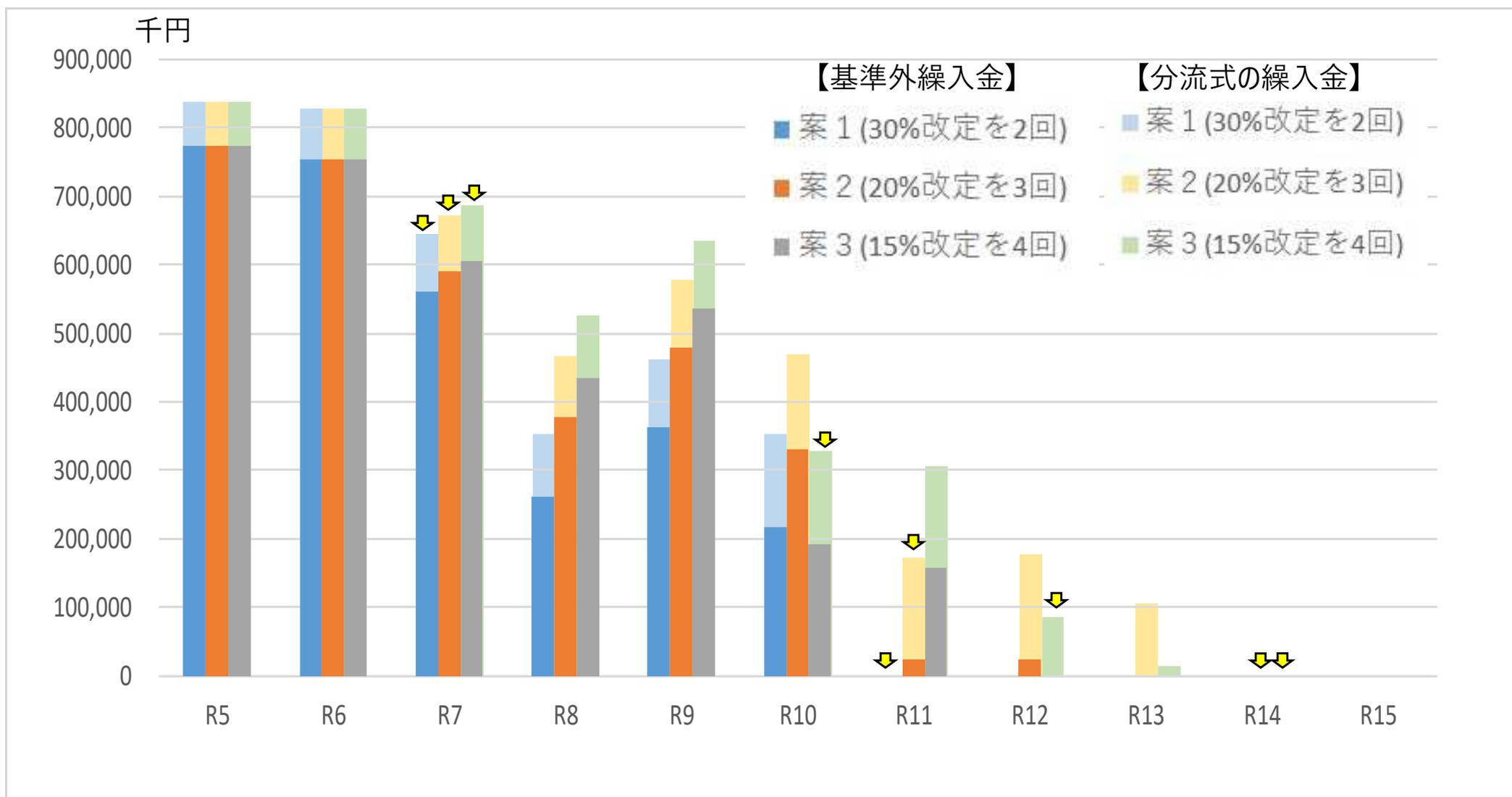
## 使用料改定後の繰入金合計



	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
案1 (30%改定を2回)	1,039	1,070	817	510	636	565	225	184	183	230	224
案2 (20%改定を3回)	1,039	1,070	846	625	751	679	397	362	289	230	224
案3 (15%改定を4回)	1,039	1,070	860	682	808	539	531	269	197	230	224

1回の改定率が高い案ほど、繰入金額の減少が早く始まります。

# 一般会計繰入金のうち赤字補てん分の推移



令和13年度前後は一般会計繰入金が少額のため、経費回収率100%まであげると一般会計からの赤字補てんがゼロになる見込みです。